



Cisco Unified Customer Voice Portal

- [新機能 \(1 ページ\)](#)
- [更新済み機能 \(2 ページ\)](#)
- [特記事項 \(2 ページ\)](#)
- [廃止された機能 \(3 ページ\)](#)
- [削除され、サポートされない機能 \(3 ページ\)](#)
- [サードパーティ ソフトウェアの影響 \(3 ページ\)](#)

新機能

プラットフォームの更新

このリリースでは、CVP は Microsoft Windows Server 2016 Standard および Datacenter Edition をデスクトップでサポートしています。詳細については、*Cisco Unified Customer Voice Portal* のインストールおよびアップグレードガイド、リリース 12.0 (1) を参照してください。

設定と管理

設定と管理

- **ORM と WSM プロセスのマージ:** ORM プロセスと WSM プロセスがマージされ、WSM プロセスで実行されるようになりました。

Call Studio のライセンス

このリリースでは、Call Studio のインストールにライセンスは必要ありません。

更新済み機能

機能拡張

セキュリティ

- **PG でのセキュア通信:** CVP は、GED 125 プロトコルの通信を暗号化する CVP と VRU PG 間のセキュアな暗号化通信をサポートするようになりました。
- **2048 ビット暗号化のサポート:** CVP では、2048 ビットの暗号化がサポートされています。
- **セキュリティの修正:** 強化されたセキュリティおよび脆弱性の修正のためにアップグレードされたさまざまなコンポーネント。

アップグレード

- **Java スクリプト エンジン:** VXML サーバで使用される Java スクリプト エンジンが、Rhino から Nashorn にアップグレードされました。
- **Java アップグレード:** CVP コンポーネントは、Java 1.7 から Java 1.8 を使用するようにアップグレードされています。
- **Tomcat アップグレード:** CVP コンポーネントは Tomcat 8 から Tomcat 9 を使用するようにアップグレードされています。

SIP サーバグループの拡張

コール マネージャからのエラー応答 503 は、コール マネージャが到達不能リストに入れられることがなくなりました。これを実現するために、到達不可能リストは最適化されています。

その他

- このリリースでは、SIP セッション タイマーのサポートが導入されています。
- このリリースでは、これらの統計のより正確なレポートを提供するために、さまざまな統計パラメータが修正されています。

特記事項

なし。

廃止された機能

なし。

削除され、サポートされない機能

なし。

サードパーティ ソフトウェアの影響

なし。

